

事業番号	054
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	農業経営基盤強化促進対策事業						担当部	市民産業部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	農政課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	農業振興係		
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		28 農業		1 効率的・安定的な農業経営の促進を図る				
		副目的									
	予算区分	款	6	項	1	目	3	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	農業経営基盤強化促進法、小牧市農業経営基盤強化資金利子補給交付要綱、小牧市農業近代化資金利子補給金交付要綱									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	農業者へ利子補給することにより農業経営の改善を図る。									
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容</p> <p>・農業近代化資金(農業経営の近代化を進めるために、必要な資金を農協などの融資機関が融資)と農業経営基盤強化資金(資金規模が大きく、償還期間が長期におよび農業近代化資金では対応できない資金を日本政策金融公庫が融資)に対する利子補給を行った。また、地域担い手育成総合支援協議会へ負担金を支出し、協議会で認定農業者への研修会等を行った。</p> <p>【24年度直接経費の内訳】</p> <p>消耗品費(3千円) 地域担い手育成総合支援協議会負担金(30千円) 農業近代化資金利子補給補助金(55千円) 農業経営基盤強化資金利子補給補助金(1,151千円)</p> <p>【25年度直接経費の内訳】</p> <p>報償費(39千円) 消耗品費(29千円) 地域担い手育成総合支援協議会負担金(30千円) 農業近代化資金利子補給補助金(96千円) 農業経営基盤強化資金利子補給補助金(916千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	1,725	1,471	1,239	1,110	
		正職員	従事者数	人	0.01	0.01	0.01	0.01
			人件費	千円	53	53	53	53
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	1,778	1,524	1,292	1,163		
	対前年比	%		85.7	84.7	90.0		
財源	一般財源	千円	1,778	1,524	1,292	1,163		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	新規・更新件数	件	目標		1	1	1
実績				0	0	4	
新規認定農業者の数	人	目標		1	1	1	1
		実績		0	1	1	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
利子補給の受給件数	件	目標		12	10	10	10
		実績		8	8	9	
認定農業者数	人	目標		21	21	22	22
		実績		19	20	21	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	利子補給の需給件数(9件)及び認定農業者数(21人)ともに目標達成には至らなかったものの、例年並みの実績を維持した。 また、JA尾張中央、春日井市、小牧市で組織する地域担い手育成総合支援協議会への負担金により、認定農業者への農業経営研修会を開催することができた。				
		事業実施における課題	担い手不足により、新たに認定農業者となる農業者を確保することが困難となっている。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	事業を廃止した場合、利子補給ができなくなり、農業者の経営を圧迫することとなる。				
	改善内容	平成25年度の	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	JA尾張中央と協力し、農家の方々と意見交換できる場に職員が積極的に参加する。			
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	農業者支援、担い手の育成のため、継続的に支援を行うことが必要であるため。					
	26年度以降の改善案	国、県の農業制度資金に関する情報等を国、県と連携して農業者に周知していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由				
	維持	一次評価のとおり。				